

## 第 45 回 ASPAC 年次総会カトマンズ大会

第 45 回 ASPAC 年次総会は 2020 年 3 月 5 日から 7 日までの 3 日間、ネパール・カトマンズのハイアット・リージェンシー・カトマンズで開催されました。



**ASPAC 2020**  
Kathmandu

今回の登録者数は全体で 346 名（3 月 5 日時点の発表）と、例年よりだいぶ少なめでした。というのも、新型コロナウイルスの世界的流行により、健康上の心配だけでなく、帰国後 2 週間の検疫を強いられた場合仕事に支障の出る方が大勢いらしたからです。台湾からは 220 名登録予定だったそうですが、登録者は 9 名、実際に来られた方はわずか 2 名でした。日本からは 94 名が登録したものの、実際に参加できたのは 29 名となりました。現地でも刻々と状況が変化し、帰国便の変更を余儀なくされる方も出てくる中、同行して下さった旅行エージェント HIS のお二人が対応して下さい、大変助かりました。



### ASPAC 研修会

大会に先立ち、3 月 3～4 日に ASPAC 研修会が行われました。日本からは増田次期ガバナーの代理で私岸本が出席したほか、KCF からの招聘で藤原 KJF 理事長も出席されました。

### ASPAC 役員会

3 月 5 日には ASPAC 役員会が行われました。今大会の各委員長指名の際、小田元国際理事が資格認定委員長に任命されました。



### 日本地区夕食会

同日夕刻には恒例の日本地区夕食会が行われました。同時刻に ASPAC 役員夕食会に出席していた 3 名以外の全員が出席、藤原国際理事候補応援の結束を強めたと聞いています。

## 総会 1

翌日の総会 1 では慣例により各国のガバナーからの報告が行われました。

## 展示

総会 1 の後には前日有志で飾り付けた展示の審査がありました。

今年の日本の展示のテーマは「日本の SLP」。

外部団体を入れたくないという日本の学校の風土の中、ここ数年目覚ましい伸びを見せている SLP クラブとその活躍ぶりを審査員に説明しました。

ブースには仙台大会のポスターとパンフレットも設置し、来場者に配布しました。

しかし残念ながら受賞には至りませんでした。



## 総会 2

いよいよ選挙です。新型コロナウイルスの関係で出席者が大幅に減ってしまい、先行きが読めませんでした。結果は大差をつけての藤原様の勝利でした。



全体の選挙結果は以下の通りです。

役職	氏名	所属地区/国	備考
ASPAC 議長	Ken Alovera	フィリピン南	
ASPAC 次期議長	Clinton Green	ニュージーランド南太平洋	
ASPAC 副議長	Belle Garcia	フィリピン・ルソン	
キワニス国代表	Shweta Shahi	インド	ASPAC 合同役員会にて決定
			インディアナポリスの
			ASPAC 役員会にて決定
2020-2022 国際理事	Wilfredo G. Aguilar	フィリピン南	
2020-2023 国際理事	藤原 武平太	日本	

また、将来の ASPAC 大会開催地につきましては、次のとおり確認・決定されました。

2021/3/10-13	仙台(日本)	
2022	マニラ	国際大会と合同
2023	マレーシア	



#### ASPAC 合同役員会

午後からは ASPAC 合同役員会が行われ、小田様が次年度 ASPAC 仙台大会の大会組織委員長に任命されました。

#### 閉会式

閉会式では恒例の各国の文化プレゼンテーションが行われましたが、日本はキャンセルが相次ぐ中、出し物を特定することができず、参加を見合わせることに致しました。

代わりに、日本からの出席者全員で登壇し、来年の ASPAC 仙台大会への参加を呼び掛けました。



その後、ASPAC 大会旗がネパールから日本に引き渡され、いよいよ仙台での ASPAC 大会開催に向けての決意を固くしました。

### 大会後ツアー

滅多に訪れることのないネパールですので、多くの参加者はこの機会に何らかのツアーを楽しまれたようです。東京クラブの佐伯会員はマレーシアのグループが企画したツアーに参加され、その中でネパールの小学生に学用品を贈るというプロジェクトにも参加されました。



### 最後に

ウィルスの流行という不測の事態の中、登録したにも関わらず参加をあきらめざるを得なかった方、それでもと駆けつけて下さった方、どちらも苦渋の決断だったと思います。

ダニエル・ビニユロン国際会長もおっしゃっていましたが、このウィルスの流行を抑えなければならない一方、子ども達への奉仕の手を休めるわけにはいきません。知恵を凝らし、細心の注意を払いながら、協力して活動を続けて参りましょう。



(ガバナー 岸本光正)